

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	西村 茉鈴 (にしむら まりん)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 修士課程 2 年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 2 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	HAI シンポジウム 2026
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	西村 茉鈴, 菊池 英明
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	心理的居場所感を形成するロボットとの対話が冒険的態度に与える影響
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>本研究は、心理的居場所感を形成するロボットとの対話が、ユーザの冒険的態度に与える影響を検証することを目的とした。心理学における安全基地理論に基づき、ユーザにとって、安全な避難所と安心の基地の二機能を担う対話ロボットを設計・開発した。大学生 6 名を対象に、話題設定を段階的に変化させた 4 回の対面対話と非同期コミュニケーションを組み合わせた 2 週間の実験を実施した。</p> <p>質問紙調査による量的評価の結果、ロボットとの継続的な対話を通じて心理的居場所感が形成され、冒険的態度を測定する尺度において正の変化が確認された。さらに、対話ログ分析を通じて、心理的居場所感に関連する発話から、冒険的態度に関する発話へと、対話内容が段階的に変化していく様子が観察された。これらの結果から、ロボットとの対話がロボットへの心理的居場所感の形成を基盤として、ユーザの冒険的態度を促進し得る可能性が示唆された。</p> <p>(抄録 URL : https://hai-conference.net/symp2026/proceedings/pdf/P2-20.pdf)</p>	

※無断転載禁止